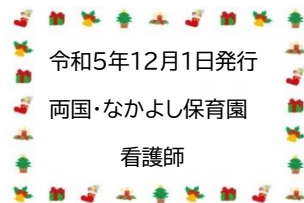





ほけんだより

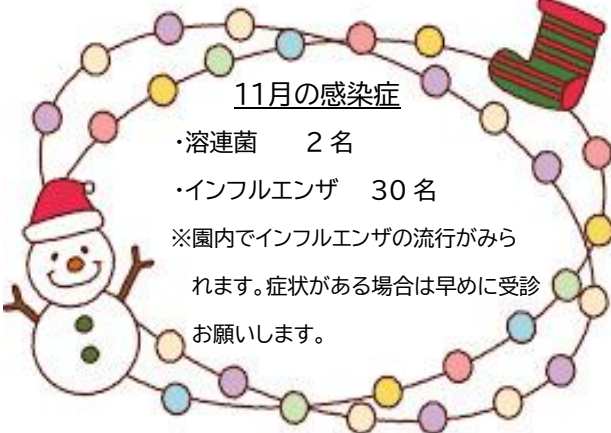


年の瀬を迎え、何かとあわただしい12月。生活リズムが崩れがちで、感染症も流行る時期です。子どもたちにとっては待ちに待ったクリスマスや年末休みなど楽しいことが盛りだくさんな月ですが、体調管理には十分気を配っていきましょう。



12月の保健行事

- ・12月6日 歯科受診
(先月の歯科検診未受診児童)
- ・12月14日 9時半～ 0歳児健診
もも組さん登園よろしくお祈いします。



11月の感染症

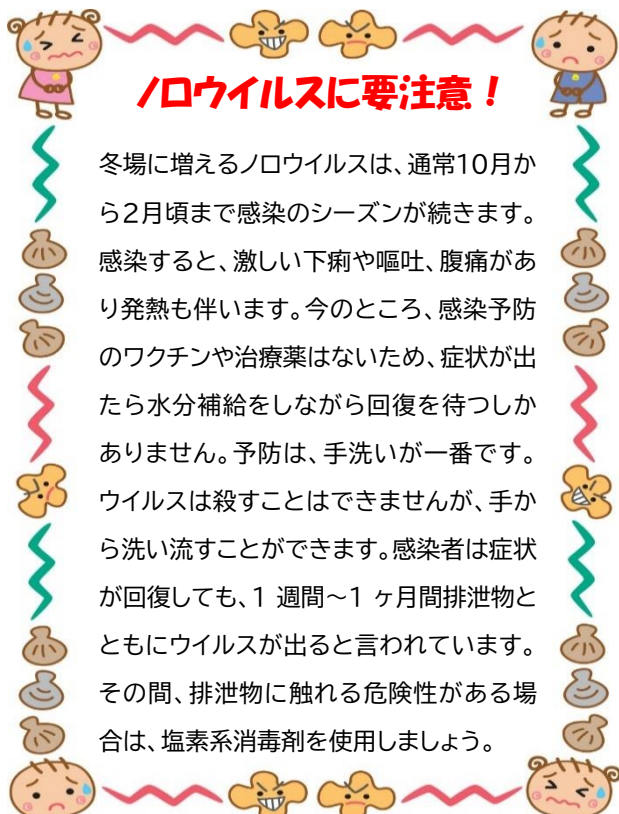
- ・溶連菌 2名
- ・インフルエンザ 30名

※園内でインフルエンザの流行がみられます。症状がある場合は早めに受診をお願いします。

今年はインフルエンザに加えて、季節外れに「アデノウイルス」が流行しています！

アデノウイルスとは…？

アデノウイルスとは夏に流行することが多い感染症であり、プール熱の原因となるウイルスです。飛沫感染で広がり、感染場所によって疾患名が異なるウイルスです。のどに感染すると咽頭結膜熱（プール熱）と言われます。主な症状は高熱とのどの痛みです。また、目に感染することもあり、こちらは流行性角結膜炎と言われます。主な症状は目ヤニ、充血で発熱することはほとんどありません。どちらも登園停止となる疾患であるため症状が出たら受診し、自宅で療養をお願いします。

ノロウイルスに要注意！

冬場に増えるノロウイルスは、通常10月から2月頃まで感染のシーズンが続きます。感染すると、激しい下痢や嘔吐、腹痛があり発熱も伴います。今のところ、感染予防のワクチンや治療薬はないため、症状が出たら水分補給をしながら回復を待つしかありません。予防は、手洗いが一番です。ウイルスは殺すことはできませんが、手から洗い流すことができます。感染者は症状が回復しても、1週間～1ヶ月間排泄物とともにウイルスが出ると言われています。その間、排泄物に触れる危険性がある場合は、塩素系消毒剤を使用しましょう。

知っておこう！冬のスキンケア

子どもの肌が荒れやすいワケ

子どもは肌のバリア機能が未発達なので、乾燥するとそのバリア機能がどんどん失われるため、荒れやすいのです。肌を保護するバリアがない状態なので、乾燥が進むとあかぎれや発疹など様々な皮膚トラブルが出やすくなります。



スキンケアの基本は清潔と保湿

清潔と保湿が、健康な皮膚を作る基本です。外遊びや手洗いのあと保湿クリームを塗るなど、日常的なケアを心がけましょう。また、冬でも半そでで過ごすお子さんがいますが、冬に肌を出していると肌の状態が悪くなる場合があります。乾燥肌が気になる場合は、長そで・長ズボンを着用した方がよいでしょう。